

経営課題4【魅力と活力にあふれるまち】

地域や関係機関等の協働により、人・団体等が交流し、にぎわいとうるおいのあるまちづくりと地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成による活力あふれるまちづくりを支援します。

【主なSDGsゴール】



めざす成果及び戦略 4-1【地域の自主的なまちづくりの活動支援・促進】

【めざす状態】

防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組み及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態

【中期的な取組の方向性】

- ・地域活動協議会のめざすべき姿に向けて、地域の実情に即したきめ細かな支援を行い、仕組みの定着を図ることで、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現します。
- ・身近な地域の課題等の解決に向け、さまざまな活動主体の協働・連携による地域活動を支援します。
- ・コミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体等と協働しながら誰もが楽しめる交流の場を提供します。

【アウトカム指標】

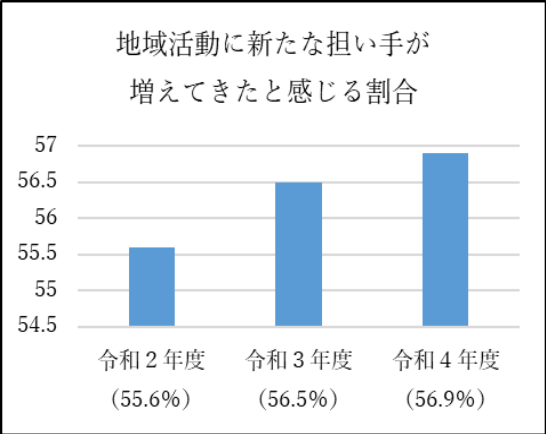
地域活動協議会の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態にあると思う割合：6年度までに90%以上

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
88.5%	—	88.8%	—	93.9%	○

○：目標達成 ー：目標未達成

【現状】

- ・地域コミュニティを取り巻く社会環境の変化等に伴い、人と人とのつながりが希薄になっています。
- ・地域活動を行うにあたって必要な人材が十分ではありません。
- ・さまざまな活動主体（自治会・町内会等）が参画する地域活動協議会による自律的な地域運営に向けて、まちづくりセンターが有する専門的なスキル・ノウハウを活用しながら支援を行ってきたことで、取組みの増加や自律度は向上しています。一方で、地域特性に応じた取組みが進んでいない地域もあります。
- ・地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合（地域活動協議会へのアンケート）：56.9%（4年度）、56.5%（3年度）、55.6%（2年度）
- ・地域活動協議会を知っている区民の割合：54.4%（4年度）、49.6%（3年度）、48.6%（2年度）
- ・地域活動協議会補助金を活用し、地域のまちづくりのために実施された事業数：10地域：158事業（4年度）、10地域158事業（3年度）、10地域155事業（2年度）



あべのカーニバル



スポーツフェスタ

【課題】

- ・自治会・町内会への加入促進や多くの住民に地域活動への参加・参画を促す必要があります。
- ・地域コミュニティ活性化のための事業を充実するとともに、地域活動協議会への支援を効果的に行うなど、全地域一律でなく、地域の実情に即した最適な支援を実施する必要があります。
- ・地域特性に即した地域課題の解決に向け、組織運営や人材育成などを支援する必要があります。

戦略4－1の自己評価	
課題	改善策
—	—

めざす成果及び戦略 4-2 【誰もが自慢したくなる魅力あるまちづくり】

【めざす状態】					
地域住民・企業等と協働することで、人が集い、にぎわいが創出され、魅力あるまちとなっていると感じられる状態					
【中期的な取組の方向性】					
区内外から人が集い、にぎわいにあふれ、美しくおいしいのあるまちづくりを進めるため、区内の魅力資源を「あべのブランド」として積極的にアピールするなど、誰もが自慢したくなる魅力情報の発信に努めるとともに、区内全域の回遊性を高めます。さらに、地域団体・企業によるイベント等、にぎわいづくりの取組みを支援します。					
【アウトカム指標】※重点目標					
魅力情報の発信や地域住民・企業等との協働によるにぎわいづくりの取組により「魅力あるまちとなっている」と感じる区民の割合：6年度までに70%以上					
令和3年度		令和4年度		令和5年度	
47.4%	—	53.6%	—	50.1%	—

○：目標達成 —：目標未達成

【現状】

・都市景観資源や「大阪市あきないグランプリ」入賞店舗など、区内の魅力的なスポットを掲載した「あべのおさんぽmapーにぎわい版ー」の発行や、HPなどを活用した情報発信を行っている。また、区内においても地域団体による魅力創出イベントなどが数多く開催されているなど、区内の活性化に関する取組が盛んに行われている。



「おさんぽmapーにぎわい版ー」



デジタルスタンプラリーーちらし



阪堺電気軌道上町線軌道緑

【課題】

・都市景観資源等、多数の魅力的なスポットについて積極的にアピールし、にぎわい創出に向け、区内全域の回遊性を高める必要があります。また、2025年大阪・関西万博に向けて来訪者に広く発信する必要があります。

・地域団体・企業等によって開催されている「あべの」の魅力を活用したイベント等との協働につなげ、にぎわいづくりに取り組む必要があります。

具体的取組4-2-1		【にぎわいとうるおいのあるまちづくり】						
				〈参考〉区政会議等意見 ・「おさんぽmap」とても楽しい内容になっている。一家に一冊あるくらい広まると良い。 ・地域の事業等でも持ち帰っていただけるようにしたい。				
「おさんぽmap-にぎわい版-」		花苗の植付						
概要		3決算額	769,000 円	4予算額	3,204,000 円	5予算額	1,722,000 円	
・「あべのdakara」を紙媒体のマップ、デジタルマップ、「おさんぽmap」外国語版を活用し、2025大阪・関西万博に向けて機運醸成を図るとともに、区内外、来訪者へアピールします。								
・あべの筋の軌道緑化などの魅力的な景観を維持するとともに、路上喫煙禁止地区の周知啓発を行い大阪のランドマークとしてアピールします。								
・阿倍野区を花で彩りのあるまちにするため、地域、事業者等と協働して種から苗を育て区内各所へ配置し育成、管理します。								
具体的取組	主な取組			5年度実績		4年度実績		
	「あべのdakara」デジタルマップのホームページ掲載			通年		-		
	「おさんぽmap」外国語版の発行(英語・中国語・韓国語):各5,000部【新規】			計15,000部		-		
	「おさんぽmap-にぎわい版-」の発行:20,000部			20,000部		10,000部		
	地域団体・企業等による音楽イベント等の取組みの支援			通年		-		
	あべの筋沿道周辺の地域と協働しまちの環境向上の取組み:年2回			2回		-		
	路上喫煙禁止地区であることの周知・啓発活動:12回			9回		7回		
	種まき:年2回、花苗配置数:22,000株			年2回		年2回		
	参加団体数42団体、最終配置場所数46か所			45団体、49か所		42団体、46か所		
	プロセス(過程)指標(取組によりめざす指標)			プロセス(過程)指標の達成状況				
・「あべのの魅力が十分発信できている」と思う区民の割合:60%以上			令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			44.7%	-	48.5%	-	46.2%	-
○:目標達成 -:目標未達成								
戦略4-2の自己評価				改善策				
課題				「おさんぽmap」の活用や地域で実施する区内イベントの後援、地域ボランティアの取組み内容等が広く区民に浸透するよう、広報紙・HP・SNS等さまざまな媒体をより一層活用して情報発信に努め阿倍野区の魅力の認知度向上に努めてまいります。				
おさんぽmap区制80周年記念-にぎわい版vol.2-を発行し、情報発信に努めてまいりましたが、阿倍野区の魅力の認知度向上には至っていません。								